

## 令和元年度第2回 沼津市総合教育会議

日時：令和2年1月20日(月)15:00～

場所：沼津市役所水道部庁舎3階会議室

### < 次 第 >

1 開会

2 市長挨拶

3 教育長挨拶

4 協議・調整事項

沼津市教育大綱の策定について

5 閉会

令和元年度第2回

# 沼津市総合教育会議

令和2年1月20日(月)

# 沼津市教育大綱の 策定スケジュール

## 沼津市教育大綱の 策定スケジュール

令和2年1月 会議（大綱策定の論点整理）

4月頃 会議（大綱の素案）

7月頃 パブリックコメント

10月頃 会議（新しい大綱の決定）

---

# 沼津市教育大綱における “目的”について

---

---

## “目的”

誇り高い沼津を創造する

たか

貴き志を持つ人づくり

---

# 新しい沼津市教育大綱について

## 現在の沼津市教育大綱

目的 明日の社会を担う

「夢ある人」  
づくり

### 基本的な方向性

沼津市は、豊かな自然に囲まれ、首都圏に近く、経済・文化などの都市機能が集積し、静岡県東部の中心的役割を担ってきました。また、古くから交通の要所として発展してきた、歴史ある土地柄であります。

そのため、沼津の地理的特性、すなわち『田舎の良さと都会的な良さ』の両面を生かす教育が今後も期待されております。

さらに、社会や経済のグローバル化が急速に進展していく中で、豊かな国際感覚を身につける事も強く求められております。

### 基本的な方策

- 豊かな自然の恵みに感謝し、命と環境を大切にする心をはぐくむとともに、自然が時に災害を引き起こす可能性を認識し、高い防災意識を養う教育
- 芸術文化及びスポーツに親しみ、ルールを守り、マナーをはぐくむ教育
- コミュニケーション能力の向上を図り、国際感覚を豊かにする教育
- 地域における人と人とのつながりを大切にし、『住んだところ』『住んでいるところ』『住むであろうところ』を愛する心をはぐくむ教育

基本方針

取り組み案

(1) 「知・徳・体」II 人間力を磨く教育

確かな知性、知力の育成

- ・小中一貫教育の推進
- ・グローバル人材の育成
- ・未来へつなぐ学校づくり

- ・学習指導要領の着実な実施
- ・沼津ならではの魅力ある学校づくり
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・わかりやすく伝える能力の育成
- ・ICT環境の整備
- ・学校規模・学校配置の適正化の推進
- ・教職員の人材育成と働き方改革の推進

豊かな心、徳力の育成

- ・主体的に社会とかかわる力の育成
- ・自他の生命・財産・価値観を尊重する心の育成
- ・多様なニーズに対応した子どもの支援

- ・文章を正確に理解する読解力・自分で考えて表現する力・情報活用能力の育成
- ・キャリア教育・主権者教育の推進
- ・防犯、災害等の危機回避能力の育成
- ・人権教育・道徳教育の推進と情報モラルの醸成
- ・多様性を認める心の育成
- ・多様な学びの場の活用
- ・自己肯定感・自己有用感を高める教育

健やかな体、体力の育成

- ・スポーツの振興・運動習慣の確立
- ・健康教育の推進

- ・スポーツに親しむ機会の充実
- ・スポーツを通じた心身のたくましさの伸長
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・保健教育や食育の推進

(2) 地域総がかりで取り組む教育

地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進

- ・郷土の伝統や文化、地域資源を生かした教育の推進
- ・学校と地域や関係機関等との連携

- ・文化財の保護や活用の推進
- ・文化芸術に触れる機会の充実
- ・郷土の歴史や文化を大切にする心の育成
- ・地域に貢献する人材の育成
- ・家庭教育への支援（相談支援体制の充実）
- ・家庭や地域と学校との連携や協働の体制づくりの推進
- ・警察や国・県等の関係機関と学校との連携

生涯を通じた学びの推進

- ・生涯を通じた学習や生涯スポーツの推進
- ・乳幼児教育と学校教育との円滑な接続
- ・切れ目のない支援体制の構築

- ・生涯を通じた学習や生涯スポーツの推進
- ・次代の社会を担う青少年の教育の推進
- ・幼保小が共通認識を持ち、連携して教育に当たる体制・情報共有できる体制の確保
- ・多様な悩みを抱える子どもや保護者のための医療、保健、福祉、就労等との切れ目のない支援体制の構築

教育とまちづくりの連携の推進

- ・文化・スポーツなどの教育行政とまちづくりとの連携
- ・安心して子どもを生み育てられる環境づくり
- ・安全・安心なまちづくりと教育との連携
- ・ヒト中心で魅力あふれるまちづくりの推進

- ・文化財の保護や活用とまちづくりとの連携
- ・スポーツ・歴史文化の活用と観光施策との連携
- ・学校施設の利活用
- ・職場における子育てに対する理解や職場環境の改善の促進
- ・交通安全・防犯教育の推進
- ・防災教育の推進
- ・環境教育の推進
- ・定住施策の推進
- ・子どもたちにとって魅力的な公共空間の創出